

## 第38回 群馬県施設果菜類品評会の開催

この品評会は、県内各地で生産されている施設果菜類の品質を比較検討し、県民に広くPRすることにより、野菜生産地の発展と消費の拡大を目的に開催されます。

冬の日照時間が全国トップクラスの群馬県で、太陽の光を十分に浴びて育ったみずみずしい野菜（きゅうり、トマト、ミニトマト、なす）が出品されます。

1 日時 令和6年3月14日（木） 10:00～15:00

2 場所 群馬県庁 県民ホール北側

3 内容

(1) 出品物の審査 10:30～12:00

【出品予定品目】 きゅうり、トマト、ミニトマト、なす

(2) 出品物の展示 12:00～15:00

(3) 出品物の販売 15:00～売り切れまで

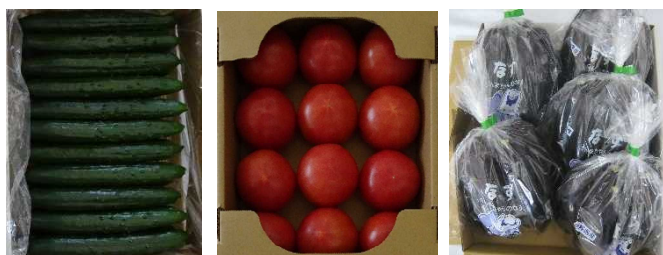
【先着順にて整理券を配布】（整理券配布は11:00～）

※ 生産者による直売 10:00～（売り切れ次第終了）

4 主催 群馬県園芸協会（電話：027-220-2297）、  
全国農業協同組合連合会群馬県本部、群馬県

（参考）

- ・本県の「きゅうり」は、施設栽培にて促成（1～6月出荷）と抑制（9～11月出荷）の主に2作型を組み合わせ栽培されています。
- ・「トマト」は施設栽培の出荷が12月から始まっていますが、これからが最盛期となり、よりおいしい時期を迎えます。
- ・「なす」は施設栽培の出荷が3月から開始され、夏秋期の露地栽培も含め、11月まで長期にわたり出荷が続きます。



過去の品評会で金賞を受賞したきゅうり、トマト、なす